

10年後に実現される社会

目 標

全国どこでも質の高いがん医療が受けられる
我が国のがんの実態把握が進み、国民へ情報提供される
がんの本態解明が飛躍的に進み、発がんのしくみが解明される
研究成果の実用化が進み、副作用を抑えた、より有効な治療法が開発される
個人に最適ながん予防・治療が可能となる
がんの診断・治療が苦痛なく行われる

重点項目

- 最先端科学の活用によるがんの本態解明の飛躍的推進
- がん研究の成果を積極的に予防・治療等へ応用する
トランスレーショナル・リサーチの推進
- 新しいがん予防法の開発
- 新しいがんの診断・治療法の開発
- 的確ながん情報の提供、質の高いがん医療の均てん

これまでの10か年戦略（対がん10か年総合戦略・がん克服新10か年戦略 昭和56年度～平成15年度）

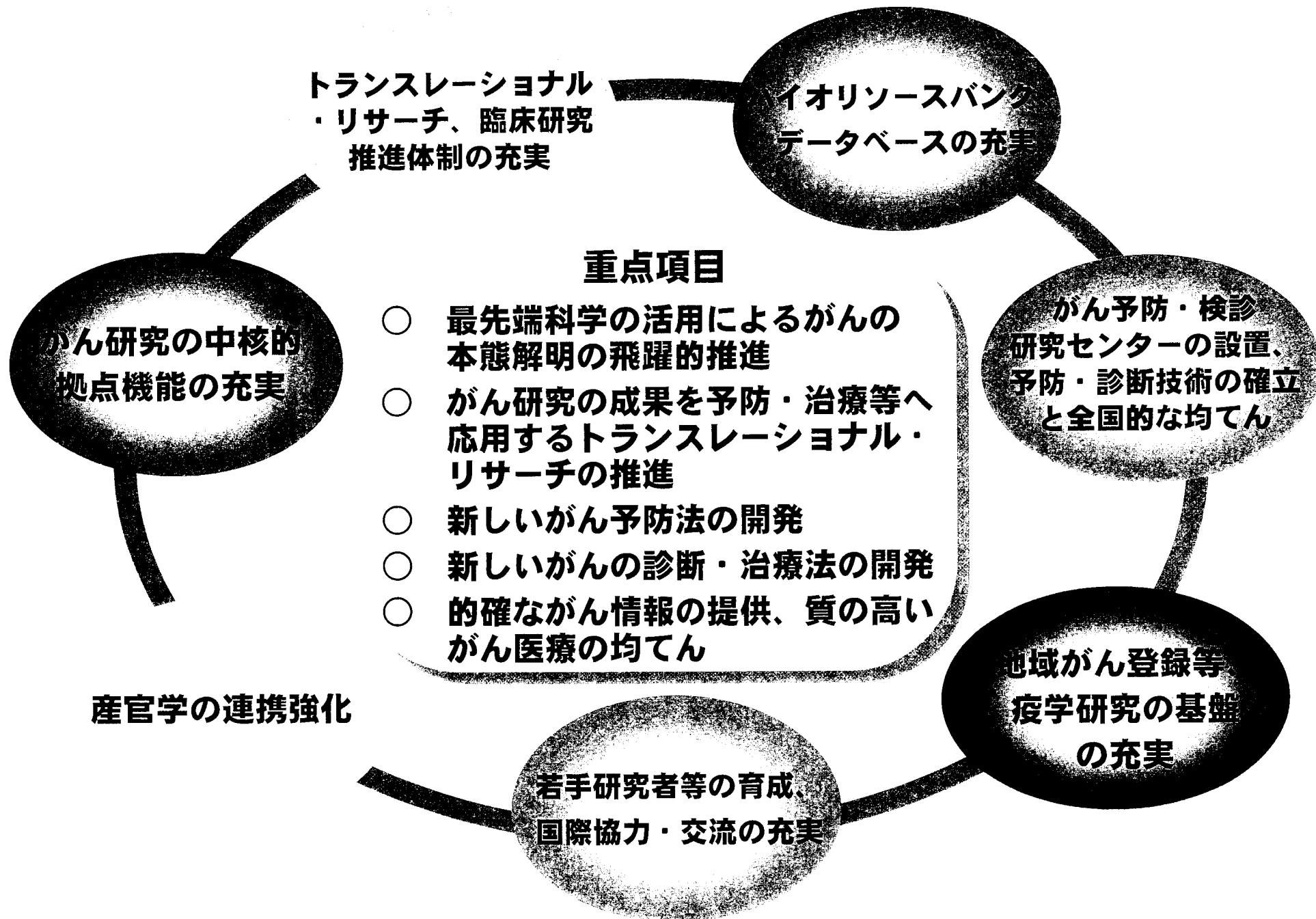
【成果】がんの本態解明が進み、また、 一部のがんの治療成績が向上した

- ・がん遺伝子・がん抑制遺伝子の発見
- ・ヘテロサイクリックアミン等の発がん物質の発見
- ・ヘリカルCT等種々の画像診断の開発
- ・各種のがんについて手術術式が確立
- ・粒子線治療施設の設置
- ・がん情報ネットワークの基盤の構築

【解決すべき課題】

- ・発生率、死亡率の激減
- ・難治がんの克服
- ・個人の特性に応じた分子レベルのがん予防・治療
- ・がんのより早期における発見
- ・苦痛の少ない診断・治療法
- ・基礎研究の迅速な実用化
- ・研究成果の国民への迅速な還元

支援事業（案）



これまでの戦略名称とキャッチフレーズ

○昭和59年度～平成5年度

- ・戦略名 対がん10カ年総合戦略
- ・キャッチフレーズ がんの本態解明

○平成6年度～平成15年度

- ・戦略名 がん克服新10カ年戦略
- ・キャッチフレーズ がんの本態解明からがん克服へ